

ノ爲メニ謝サナケレバナラヌト思ヒマス、沖君モ述ベラレタ通リ此臺灣ノ鐵業ナドハ大ニ將來望ノ  
アルコト、思ヒマスノテ此御演說ノ世ニ益スルコトハ誠ニ大ナリト考ヘマスカラ諸君ト共ニ沖君  
ニ御禮ヲ申上ゲマス、

論說及報告

箱根鐵道線路豫測ノ景況

山 縣 信 吉 君

明治廿九年七月十五日付ヲ以テ寺嶋男爵外百四名ヨリ發起申請ヲ爲シタル箱根鐵道線路ハ  
神奈川縣下相模國足柄上郡松田驛官設鐵道停車場ヲ起點トシ足柄下郡箱根宿及熱海附近等  
ヲ通過シテ靜岡縣下駿河國駿東郡沼津驛官設鐵道停車場ニ接續スル延長五拾參哩余ニシテ  
其主要ノ目的ハ最乘寺境內道了權現ノ參詣者并ニ箱根七湯目下増加シテ拾餘湯及熱海修繕  
寺等ノ温泉ニ入浴スル旅客ニ便利ヲ與ヘ沿線各地ニ産出スル良好ナル石材ノ運搬ヲ容易ナ  
ラシメ汎ク市場ニ販賣シテ公益ヲ謀ラントスルニアリ

箱根温泉ハ京濱ニ最モ接近シタル温泉場ニシテ海面ヲ抜タテ百五拾尺乃至三千尺ノ高所ニ  
散在シ山水明媚大氣清淨四時天然ノ風趣アリテ最モ幽雅ノ勝地タリ而シテ相模國足柄下郡  
ノ西南隅ニ位シ巍然トシテ千嶽萬峰箱根トハ則總稱ナリ東南ハ相模灘ニ臨ミ西ハ伊豆ノ半  
嶋ニ跨リ北ハ足柄山ニ續キテ富士山ヲ負ヘリ東ノ山趾ハ小田原町ヨリ一哩許リナル大窪村  
字風祭ニ起リ西ノ山脚ハ伊豆國三嶋宿ニ至リテ盡ク山中ニ村落アリ山上ニアルヲ箱根宿ト  
云フ東西ノ長凡拾壹哩餘南北ハ山岳重疊シテ其幾何ナルヲ知ルヘカラスト雖モ凡拾參哩余

ナルヘシ山間所々ニ温泉湧出シテ古來有名ナリ所謂箱根七湯ハ東海道國道ノ北箱根宿ノ東北ニ當リ山澤ノ間ニアリ則チ湯本塔之澤、堂ヶ嶋宮ノ下、底倉、木賀、蘆之湯是ナリ其他小涌谷、湯之花澤姥子、仙石原、強羅ノ五新温泉場アリ箱根群山中最も高キヤリ神山冠ヶ嶽駒ヶ嶽、金時山トス之ニ次グハ二子山、文庫山、三國山ナリ項上ニ一大湖アリ蘆ノ湖ト云フ又地獄湯トテ熱湯沸湧シ硫烟焚騰スルモノ三アリ大涌谷、小涌谷早雲地獄是ナリ尙蘆ノ湯硫黄ヲ加ヘテ都テ四地獄アリ近時仙石原附近ニ於テ熱湯ノ湧出スルヲ發見シ御雇醫ヘルツ先生ニ分拆ヲ乞ヒシニ其質非常ニ善良ナリト云フ此事早クモ上聞ニ達シ該熱湯ト其附近ノ地處トハ宮内省ニ買上ケラレ目下御料地トナレリ宮内省ニ於テハ仙石原ニ一大溜池ヲ造リ該熱湯ト蘆ノ湖ノ淨水トヲ混和シ適當ノ溫度ヲヲシメ溫泉ノ遊泳所ヲ設置ヒラル、計畫アリト云フ

熱海温泉場ハ伊豆國加茂郡伊豆山ノ南日金山ノ東麓ニ在テ即チ静岡縣ノ管下ニ屬シ三方ニ山ヲ環ラシテ北風ノ寒キヲ防ギ東南ニハ海ヲ控ヘ空氣清淨健康保全ノ地タリ修繕寺温泉ハ伊豆國君澤郡修善寺ニアリ土地稍々偏鄙ニシテ最も閑靜ノ地ナリ

本鐵道線路起點地タル松田驛ハ武相中央鐵道ノ接續地ニテ將來荷客ノ輻輳スル樞要ノ地トナルヘシ

道了權現ハ足柄上郡關本村最乗寺ノ境内ニアリテ參詣者ノ多キ事成田ノ不動川崎ノ大師ニ次クモノナリ現時參詣スル者ハ國府津及松田停車場ニテ流車ヲ下リ夫ヨリ徒歩又ハ車馬ノ便ニ據ルノ外ナシト雖モ本線路布設ノ上ハ最乗寺ノ大門附近ニ本鐵道ノ停車場ヲ設置シ得ルヲ以テ參詣者ハ大ニ増加スヘシ

條約改正實施外人雜居ノ曉ニハ本鐵道沿線各地ニ公園地ヲ設置シ又ハ遊戯場ヲ設ケ人家大ニ稠密シ外人ハ本鐵道沿線各地ヲ根據トシテ京濱市場ト取引ヲ爲スニ至ルヘシ

石材ハ沿線各地ニ產出ス就中元箱根附近二子山ニ良好ノ石材アリ本線路布設ノ上ハ其運搬容易ナルヲ以テ京濱市街ノ土木建築材料ニ煉化ヲ使用スルヨリ此石材ヲ使用セハ大ニ便利ニシテ其價低廉ナルヲ得ヘシ

本線路松田沼津間ノ延長凡五拾參哩ト官線松田沼津間延長參拾壹哩拾貳鎖トヲ比較セハ差引貳拾壹哩六拾八鎖ノ迂回ニシテ既設官設鐵道ニ對シ寸毫モ害ヲ與フルヲナク單ニ箱根、熱海、修繕寺等ノ入湯客及遊覽人ト沿線各地ノ石材、木材、竹材トヲ運搬シテ本鐵道ノ經濟ヲ保テ相當ノ利益アル見込ナリ

本鐵道線路豫測ノ結果ハ別紙平面圖、縱斷面圖、地形表、勾配表、曲線表ノ通ニシテ建設費ハ概略金四百万圓ヲ要スル見込ナリ而シテ之ニ對スル收入ハ現今ノ入湯客ヲ調査スルニ昨廿九年中ニ係ル各警察署ノ調べニ依レハ箱根、熱海ノ兩所ニテ宿泊數參拾七万泊ニシテ此人員拾七万人内外ナリ此浴客又ハ旅客ガ本線路ヲ平均壹回宛往復スルモノト仮定セハ一ケ年ノ乗客哩ハ則チ壹千八百貳万哩ニシテ一哩平均壹錢五厘トセバ金貳拾七万參百圓ナリ此内營業費一日壹哩ニ付平均金五圓ノ割ヲ以テ一ケ年金九万六千七百貳拾五圓トナルニヨリ差引殘則鐵道純益金拾七万參千五百七拾五圓ニシテ建設費四百万圓ニ對シ一ケ年四朱參厘強トナル然ルニ此乘客人員ハ現今ノ箱根、熱海ノミノ宿泊人員ナリト雖モ此外ニ道了權限ノ參詣人湯河原、修繕寺等ノ入湯客ヲ加ヘ尙鐵道布設後ハ必ズ入湯客増加スルハ勿論、石材、木材、竹材等ノ

箱根鐵道會社線

勾配表

松田沼津間 53<sup>m</sup> 10<sup>ch</sup>

哩程			距離			フォーメーション		H(高低ノ差)			I (勾配)		I.H.			
哩	鎖	節	哩	鎖	節	I	高	呎	上	リ	下	リ	上	リ	下	リ
0	20		0	20		182	00						水	平		0 0
2	40		2	20		281	00		99				I <sub>IN</sub> 120			0.825
3	0		0	40		"			"				水	平		0 0
3	40		0	40		347	00		66				I <sub>IN</sub> 40			1.650
3	60		0	20		"			"				水	平		0 0
7	70		4	10		891	50		544	50			I <sub>IN</sub> 40			13.6125
8	70		1	0		"			"				水	平		0 0
13	32		4	42		1.289	70		398	20			I <sub>IN</sub> 60			6.63667
13	60		0	28		"			"				水	平		0 0
18	20		4	40		1.883	70		594	00			I <sub>IN</sub> 40			14.8500
18	40		0	20		"			"				水	平		0 0
21	20		2	60		2.246	70		363	00			I <sub>IN</sub> 40			9.07500
22	0		0	60		"			"				水	平		0 0
23	70		1	70		2.494	20		247	50			I <sub>IN</sub> 40			6.18750
26	10		2	20		2.434	80			59	40		I <sub>IN</sub> 200			0.29700
28	50		2	40		"			"				水	平		0 0
36	10		7	40		1.444	80			99	00		I <sub>IN</sub> 40			2.47500
38	20		2	10		"			"				水	平		0 0
41	0		2	60		1.081	80			36	00		I <sub>IN</sub> 40			9.07500
41	40		0	40		"			"				水	平		0 0
48	30		6	70		174	30			90	50		I <sub>IN</sub> 40			22.68750
50	30		2	0		42	30			13	00		I <sub>IN</sub> 80			1.65000
51	30		1	0		"			"				水	平		0 0
51	60		0	30		39	00			3	30		I <sub>IN</sub> 600			0.00550
53	10		1	30		"			"				水	平		0 0

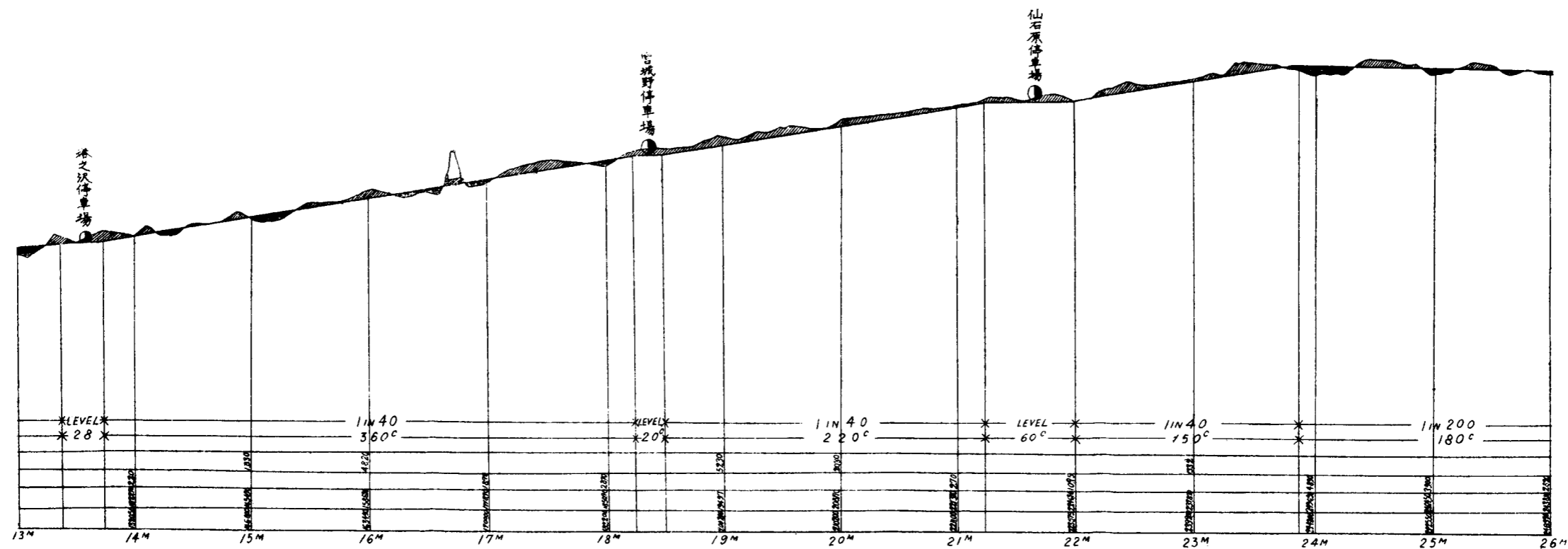
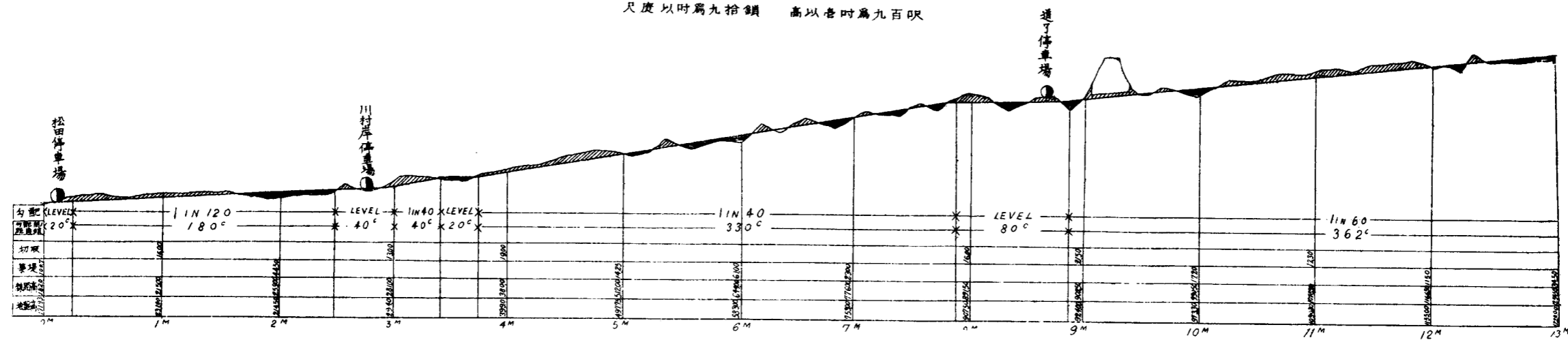






# 箱根鐵道線路縱斷面圖

尺度以吋為九拾釐 高以呎為九百呎







箱 根 鐵 道 會 社 線

地 形 表

- 1 物延長 =  $53^m 10^s$
- 2 海面上ノ最高點 =  $24942^s$
- 3 營業區間ノ距離及最急勾配 = 別表
- 4 最小曲線半徑 =  $15^s$
- 5 曲線(平均壹哩ノ角度數) =  $124^m 11^s 22^s$
- 6 平均ノ抵抗力(壹頓 = 付封度數) =  $30.65261$
- 7 勾配線及曲線ヲ水平直線ニ換算シタル延長 =  $133^m 11^s 94^s 5$
- 8 延長率 =  $2.50634$

區 域	距 離	最 急 勾 配
松 田 川 村 岸 間	$2^m 60$	百二十分ノ一
川 村 岸 道 了 間	5 75	四十分ノ一
道 了 塔ノ澤 間	4 75	六十分ノ一
塔ノ澤 宮 城 野 間	4 60	四十分ノ一
宮 城 野 仙 石 原 間	3 20	四十分ノ一
仙 石 原 箱 根 間	5 30	四十分ノ一
箱 根 熱 海 間	9 10	四十分ノ一
熱 海 輕 井 澤 間	5 10	四十分ノ一
輕 井 澤 三 嶋 間	9 20	四十分ノ一
三 嶋 沼 津 間	2 50	六百分ノ一
總 計	53 10	

運送費ヲ加算セハ相當ノ利益配當ヲ爲シ得ル鐵道ナル事明瞭ナリトス

歐米ニ於ケル最近ノ甲鐵製造法

工學士 今泉嘉一郎君

去ル明治廿七年五月ヨリ全二十九年十二月ニ至レル間ノ歐米留學中予ノ實見ニカ、ル製鐵所無慮八十餘ヶ所ノ中最モ完全ナル裝置ヲ以テ盛ニ甲鐵ノ製造ヲ成スモノ四ヶ所アリ即奧太利ノレーレンニ於ケルウイツトコウイツツ製鐵所獨乙エツセンニ於ケルクルツブ鑄鋼所英國シエツフヒールドニ於ケルチャーレスカンメル會社及米國ホームストラッドニ於ケルカルネギー製鋼所ナリトス是等工場ハ今日實ニ世界ニ於ケル最モ著名ナル甲鐵製造所ナルガ故ニ今聊カ此實見ニ基ケル專門學上觀察ノ要點ヲ報告シ歐米最近ノ進歩ニカ、ル甲鐵製造法ノ一斑ヲ規フノ資ニ供セントス

奧太利帝國ウイツトコウイツツ製鐵所ニ於ケル甲鐵製造法

當所ニ於テ甲鐵板製造ニ供スル主要ナル器具左ノ如シ

製鋼爐	シームンスマルチン	四箇	鋼塊鍛熱炉	一箇
鑄鋼鍋及臺車		數個	水壓鍛鋼器	一箇
鑄形		數十個	高水壓ポンプ	一箇
低水壓ポンプ		一個	廻轉鍛熱炉	一箇
汽筒水壓器		一個	甲鐵板ロール	一箇
高水壓貯蓄器		一個	同上附屬ロール流機	一箇